

先天性食道閉鎖症	胃瘻造設術	1
腸重積症	観血的整復術	2
膿胸	胸腔ドレナージ	2
副耳	副耳切除術	2
頸部瘻孔	瘻孔切除術	1
耳前瘻孔	瘻孔切除術	1
先天性横隔膜ヘルニア	ECMO	1
先天性横隔膜ヘルニア	横隔膜修復術	1
胸壁膿瘍	膿瘍摘除術	1
肺嚢胞症	肺切除術	1
上腸間膜静脈血栓症	小腸切除術	1
腸回転異常症	腸管切除、人工肛門造設	1
腸管重複症	小腸切除術	1
腸管重複症	腹腔鏡下切除術	1
メッケル憩室	憩室切除	1
外傷性脾損傷	脾仮性嚢胞ドレナージ	1
外傷性脾損傷	脾吻合術	1
下顎腫瘍	腫瘍切除	1
前胸部腫瘍	腫瘍切除	1
神経芽腫	腫瘍切除術	2
ウイルムス腫瘍	腎摘除術	1
仙尾部奇形種	腫瘍切除術	1
大網嚢腫	嚢腫切除術	1
腸間膜嚢腫	嚢腫切除術	1
後腹膜奇形種	腫瘍切除術	1
腎嚢胞	虫垂瘻造設術	1
神経因性膀胱	膀胱拡大術	1
尿管遺残症	尿管摘除術	1
副乳	副乳切除術	1
血栓性外痔核	血栓除去術	1
リンパ腫疑い	リンパ節生検	1
その他	その他	8
消化管出血、食道静脈瘤	上部消化管内視鏡	6
消化管異物	異物除去	4
消化管ポリープ	消化管内視鏡（ポリペクトミー）	10
膵炎、膵損傷	ERCP, ERP	2
CVカテ挿入	CVカテーテル挿入&抜去	55
計		530

3-2) 手術術式別件数・術後合併症件数

総手術症例数	530
合併症件数	0
再手術症例数	0

3-3) 新生児外科症例

症例	性別	病名	新生児期の治療
1	女	ヒルシュスプルング病	直腸生検
2	女	鎖肛	経過観察
3	女	先天性横隔膜ヘルニア	経過観察

4	女	先天性横隔膜ヘルニア、喉頭気管食道裂	経過観察
5	男	腸回転異常、中腸軸捻転	Ladd手術
6	男	先天性横隔膜ヘルニア	ECMO、横隔膜修復術
7	男	腸回転異常、中腸軸捻転	Ladd手術
8	女	腸回転異常、中腸軸捻転	Ladd手術
9	男	腸回転異常症、中腸軸捻転	Ladd手術
10	女	腹壁破裂	サイロ造設術、腹壁閉鎖術
11	男	腹壁破裂	サイロ造設術、腹壁閉鎖術
12	女	ヒルシュスプルング病疑い、小腸穿孔	人工門造設術
13	男	胎便イレウス	人工門造設術
14	女	中間位鎖肛	人工門造設術
15	女	中間位鎖肛	人工門造設術
16	女	腸管穿孔	人工門造設術
17	男	腸回転異常症、中腸軸捻転	人工門造設術
18	男	十二指腸閉鎖症	ダイヤモンド吻合術
19	女	十二指腸閉鎖、鎖肛、胆道閉鎖症疑い	ダイヤモンド吻合術、人工肛門造設術、肝生検
20	男	胎便性腹膜炎、小腸閉鎖	ドレナージ術、小腸吻合術
21	女	肥厚性幽門狭窄症	ラムステッド手術
22	女	先天性食道閉鎖症	胃瘻造設術
23	女	食道閉鎖症、鎖肛	一期の食道吻合術
24	女	臍帯ヘルニア	一期の腹壁閉鎖術
25	男	小腸閉鎖	一期の吻合術
26	男	低位鎖肛	会陰式肛門形成術
27	男	低位鎖肛	会陰式肛門形成術
28	男	低位鎖肛	会陰式肛門形成術
29	男	低位鎖肛	会陰式肛門形成術
30	男	先天性横隔膜ヘルニア	横隔膜修復術
31	男	気管食道瘻	硬性気管支鏡検査
32	男	喉頭軟化症	硬性気管支鏡検査
33	女	仙尾部奇形腫	腫瘍切除術
34	男	副腎腫瘍 アラジール症候群疑い	腫瘍摘出術 肝生検
35	女	腸重積症、腸管重複症	小腸切除術
36	男	腸回転異常症、中腸軸捻転、小腸穿孔	小腸切除術、人工肛門造設術
37	女	小腸閉鎖、胎便性腹膜炎	小腸切除術、小腸吻合術
38	男	胎便性腹膜炎、小腸閉鎖	小腸吻合術
39	女	先天性食道閉鎖症	一期の食道吻合術
40	男	鎖肛	人工肛門造設術
41	男	腹壁破裂	腹壁閉鎖術
42	女	右卵巣のう腫	腹腔鏡下切除術
43	男	腹壁破裂	腹壁閉鎖術
44	女	腹壁破裂	腹壁閉鎖術

45	男	腹壁破裂	腹壁閉鎖術
46	男	臍帯ヘルニア	腹壁閉鎖術
47	男	臍帯ヘルニア	腹壁閉鎖術
48	女	右単径ヘルニア	単径ヘルニア手術
49	男	右単径ヘルニア嵌頓	単径ヘルニア手術

4) 化学療法症例：すべて小児科との併診

5) 放射線療法症例：なし

6) 悪性腫瘍：手術症例を参照

7) 手術死亡症例：なし

8) 再手術率：0

回避しうる再入院率：0

術後感染：0

術後合併症：0

褥瘡発生率：0

9) カンファランス

入院症例検討：毎日朝・夕

小児放射線カンファレンス（毎週月曜）

周産期カンファレンス（毎週月曜）

小児科との血液腫瘍カンファレンス

消化器カンファレンス（適時）

栃木県小児外科症例検討会（年2回）

関東小児外科症例検討会（年2回）

4. 事業計画・来年の目標等

1) 小児外科スタッフのさらなる拡充

スタッフの5人体制とシニアレジデント、大学院生の充実をはかりたい。

2) 学生教育

2年生、5年生、6年生への講義と5年生の必修BSL、選択BSLを実施。さらに小児外科セミナーを開講している。

3) 臨床面での発展

子ども医療センターの手術室拡充にともなって、更なる手術症例数の増加をはかる。栃木県内はもとより茨城県、群馬県等周辺の医療機関からも積極的に受け入れ、医療圏のさらなる拡大をめざす。